

広報 みはま

牛さんようこそ新庄へ!
元気な赤ちゃんを!



牛さんがやって来た!!

Aug.2010

8

No.475

主な記事

- ハートフル対話2010を開催 P2~5
- 治太やんBOX・治太やんメール P6~7
- 地上デジタル放送について P8

皆さんの声をまちづくりに生かすために

ハートフル対話2010を開催

多くの「参加・意見ありがとう」ございました

町では、町民の皆さんと町政について語り合う座談会「ハートフル対話2010」を5月27日から6月21日にかけて町内の6会場で10回開催し、341人の方にご参加をいただきました。



ハートフル対話は、山口町長と町民の皆さんがまちづくりについて意見交換を行うことで、町政について一層のご理解と関心を持っていただくとともに、各会場で伺ったご意見をまちづくりに生かすことを目的に、平成11年から毎年開催しています。

今回のハートフル対話では、今年の11月で運転開始から40年目を迎える美浜発電所1号機の現状と、町が取り組んでいるさまざまな施策について説明しました。その後、「人と町を元気に！」をテーマ

に、参加された方からの質問や意見に対して、山口町長が説明や回答を行いました。今回の広報では、対話の中でいただいたご質問やご意見の一部をご紹介します。



獣害対策について

問 シカやイノシシ等により農地が荒らされ困っています。獣害対策を徹底して欲しいのですが…。

答 町では、平成23年度からシカ等の害獣が農地に侵入しないよう高さ2m程度の鉄柵とその上に0.5mの電柵を、町中の山際約100kmに順次設置することを計画しています。

また、今年シカ1頭当たりの捕獲料を従来の7,000円から12,000円に増額し、個体数を減らしていきたいと考えています。

猟師さんの人数が減っているという現状もありますので、各集落に呼びかけ、40人ぐらいの方にわな免許の資格を取得していただきました。

今後、「侵入させない」、「捕獲し、個体数を減らす」、「住民の方々の協力のもとに獣害を減らす」の3点を中心に獣害対策を進めていきたいと考えています。

人口減少について

問 町内で進んでいる人口減少に対して、町が行っている対策について教えてください。

答 人口減少をくい止めるには、いろいろな施策を総合的に実施していく必要があると考えています。

町では、昨年度から少子化対策として、「すくすく美浜っ子サポート事

業」を創設し、子ども(中学生以下)の医療費助成や手当の支給を行う等、積極的に子育て支援策を実施しています。同事業の内容は県内でも先進的であり、多くの保護者の方に評価をいただいております。

今年度からは、結婚を望む独身者を支援するための事業も実施します。

また、若者の働く場所を確保するため、企業誘致条例を定め誘致活動に取り組み、現在3社の誘致の実績があります。

人口減少は、日本全体で進行している問題なので止めることは難しいですが、町民の方がいつまでもいきいきと生活できるようになまちづくりを行っていききたいと思っています。

医療費について

問 町の医療費が高くなっている原因は、なぜですか？

答 原因として、町には生活習慣病(特に糖尿病と高血圧)の方が多く、それも症状が悪化してから医療機関へ受診する方が多いことがあげられます。

例えば、がん検診を受け、早期に発見された場合、手術後に転移がなければ、1か月160万円、200万円の医療費で済みます。しかし、悪化してから受診した場合は、1か月200万円、300万円が何か月も続き、結果として医療費

を圧迫することになります。

町民の皆さんには、まず各種健診を受けていただき、病気の早期発見・早期治療に努めていただきたいと思っています。そのことが、医療費の減少に繋がっていくと考えます。

町民広場について

問 町民広場のテニスコートの芝は傷みがひどいので、補修をお願いしたいのですが…。

答 傷みのひどい部分については、早急に対応していきます。

町民広場は完成して約20年経ちますので、テニスコートの全面改修も検討していきたいと思っています。

生涯学習センターについて

問 生涯学習センターの利用方法は、中央公民館と大きく異なるのですか？

答 生涯学習センターは、平成24年度から使用可能となる見込みであり、使用料を含め、今の中央公民館と大きく変えるつもりはありません。

なお、具体的な運営方法については、運営委員会を作り検討していきたいと考えています。

歴史資料館について

問 町内の各家庭にある貴重な歴史資料を保存・展示するための歴史資料館

を建設してもらえないでしょうか？

答 町では、第4次総合振興計画に基づき、歴史文化の継承と文化財保護を進めています。

各家庭にねむっている貴重な資料については、調査活動を行い、町指定の文化財として後世に残していきたいと思っています。

また、興道寺廃寺は現在、第12次の発掘調査中であり、価値の高いものが発掘されています。

今後これらの文化財については、保存・展示できる施設を検討していきたいと考えています。

興道寺廃寺発掘調査による出土品の一部



↑「耳」と墨書きされた須恵器の蓋(9世紀頃)



↑土製の仏像の頭髪部分(8~9世紀頃)

特産品の開発について

問 以前、町では新しい特産品の開発に向けて組織体制を整え、相当の努力をされたと聞いていますが、その後の状況について教えてください。

答 特産品の開発については、県とともに福井梅や二州大根、ブドウの生産拡大に取り組んできましたが、生産者が増えず、加工食品を検討するまでに至っていないのが現状です。

しかし、「へしご」については、歴史ある鯖の加工品として取り上げ、生産者が増加することに合わせて、PRにもかなりの力を注ぎました。

その結果、今では、「へしご」と言えば美浜町と言われるようになったと自負しています。

今後、更なる特産品を開発するには、行政だけでは難しいと思っています。生産者と共に取り組むことで初めて多くの産物ができ、それを加工することで特産品が誕生すると考えています。

温泉施設について

問 温泉施設の建設が以前話題になっていましたが、現在の状況はどうなっているのですか？

答 町の観光産業の振興や、温泉の

活用による健康増進、医療費低減を図るため、温泉施設の建設を考えてきました。

しかしながら、現在、町では学校施設の耐震化や生涯学習センター、保育園の建設といった事業に、優先的に取り組んでいます。

町では、毎年、存在する行政課題を整理し、緊急性、必要性、優先度を考慮しながら振興計画の見直しを行い、まちづくりを進めているところです。

温泉施設の建設については、他の施設の整備状況や財政状況、社会情勢を見極めながら今後も検討していきたいと考えています。

交通環境について

問 町の主要施設は、役場周辺に集中しており、東地区からだ利用しにくいのが現状です。東地区からでもアクセスしやすい環境を作つて欲しいのですが…。

答 現在、町ではコミュニティバスを3路線走らせており、ダイヤの編成にあたっては、他の公共交通機関との接続に可能な限り配慮しているところです。

ダイヤ等について要望がありましたら、運送事業者や学識経験者等で構成される公共交通会議で検討して

いきますので、どんどんご意見をお寄せください。

はあとふる体験について

問 はあとふる体験を目的に県外から多くの子どもたちが訪れています。しかし、悪天候だと有意義な体験ができないので、悪天候でも対応できる体験プログラムを用意する必要があると思うのですが…。

答 現在、町内に、原子力やエネルギー・環境問題についての学習体験プログラムを提供する「エネルギー環境教育体験施設」を、平成26年春頃の供用開始を目指し、建設することを計画しています。

同施設の規模等については、現在検討しているところですが、はあとふる体験でも、この施設を活用していきたいと考えています。

町内の学校での体験学習について

問 はあとふる体験で町外の子もたくさん、素晴らしい体験学習を提供していますが、町内の学校での体験学習の状況を教えてください。

答 本町の教育現場では、豊かな人間性を育てることを目的に、体験学習を積極的に取り入れています。

実際に昨年度に行つたものは、夏場のキャンプや宿泊研修、職場体験

に加え、北小学校ではシジミとり体験、新庄小学校では牧場体験、丹生小学校では、牧場体験・大敷き網体験・紙すき体験等を行いました。

また、各学校では、農林水産課の事業で田植えや稲の収穫に取り組みしており、取り組みの様子については、毎年町役場で写真展示を行っていますので、ぜひご覧ください。



↑ 新庄小学校で行われた田植え体験(今年5月)